

経済産業副大臣

おおぐし 衆議院議員

大串まさき

<https://m-ogushi.com>

国政報告



- 参議院選挙を終えて
- 日米関税交渉の合意
- 経済産業副大臣としての活動

ゲンロック VOL. 48

大串まさき プロフィール

デジタル副大臣、経済産業大臣政務官
自民党 厚生労働部会長、副幹事長などを歴任

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒。東北大学大学院修了。IHI、松下政経塾を経てJAISTにて博士（知識科学）を取得。大学准教授の後に現職（5期）。
- ▶ 社会保障・産業政策・デジタル改革等の分野に注力。
- ▶ 家族は妻と2人暮らし+保護猫1匹（三毛猫）。趣味は釣り・絵画・多肉植物など。スポーツは高校まで剣道一筋。好きな食べ物はカレーとラーメン。座右の銘は「威ありて猛からず」。

お問い合わせ先

自民党の党員になって応援して頂ける方、ボランティアとしてお手伝い頂ける方、国政報告会への参加を希望される方など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



動画を配信中！

政策の解説からプライベートまで気軽に見られる動画を「X」「Instagram」「YouTube」で配信しています。右のQRコードからフォローしてください。



参議院選挙を終えて

先の参議院議員選挙（7月20日投開票）におきまして、兵庫県選挙区では自民党の公認候補として、加田裕之（かだひろゆき）候補が2期目の挑戦をしました。今回の選挙の争点は、目下の物価高対策への是非などもありましたが、さまざまな論戦を通じて、阪神間でも新しい政党が躍進するなど大変厳しい選挙戦となりました。最終的には当選を果たすことができたが、改めて皆さまのご支援にお応えできるように、私も連携して政策課題に取り組んで参ります。一方、今回の選挙を通じて、自民党に対して厳しいご意見やご批判も頂きました。ご指摘は真摯に受け止めて、気持ちを引き締めつつ、さらなる党の改革を進めて参ります。

自民党改革の推進

自民党としては、政治と金の問題に端を発して、その後の対応にも反省すべき点が多々ありました。参議院選挙期間中も、日頃からご支援を頂いている方々からも「自民党しかないんだから、しっかりして欲しい」というご意見を多く伺いました。自民党内でも選挙の総括を行いながら、皆さんに納得してもらえ改革を進め、これまでの経験を生かしつつ更なる取組を進めたいと考えています。



自民党では両院議員総会を開き、様々な改革の意見交換をおこないました。世間から乖離してしまった党の体質改善も必要ですし、政策においても妥当性を説明するだけではなく、もう少し思い切った国民に響くような提案をすべきで、そのための組織に変革すべきです。自民党内でも積極的に行動して参ります。



地元のみなさまへ

引き続き副大臣としての公務は多いのですが、週末や時間があるときには、地元のイベントなどを回りながら皆さんの声を伺っています（皆さんの想像以上に地元にいる機会が多いです）。この時期は、各団体の総会や夏まつりなどの行事が続いています。高齢化や人口減少という大きな流れだけではなく、伊丹・宝塚・川西とそれぞれに異なる地域課題もあり、地方議会と連携しながら対応して参ります。



伊丹桜台地区コミュニティ収穫祭に参加



宝塚市老人クラブ連合会研修会にてご挨拶



宝塚神社夏季大祭に参拝



多田商業会の多田まつりに参加

日米関税交渉の合意

本年4月以来、担当副大臣として関わってきました米国との関税交渉ですが、ようやく合意を得ることができました。



Photo: The White House / X

これまでの自由貿易の世界では前例のない措置に対して、これまた前例のない交渉の方法も重なって調整は難航しましたが、何とか日米双方が納得いく合意となりました。ただし、日本からの全ての輸入品に課せられる15%の相互関税や、自動車・自動車部品への15%の関税などは残りますので、今後は国内産業への影響を見極めた対応が必要になります。



自民党の部会で状況の報告

また、日本からの投資によって9つの分野※におよぶ強靱なサプライチェーン構築への連携も含まれていますので、その対応も必要です。総枠で最大5,500億ドル規模の出資（融資、融資保証枠を含むので、すべてを日本が負担する金額ではありませんのでご安心ください）も盛り込まれていますが、日本にとっても経済安全保障上、本来必要としていた有益な合意になっています。

※半導体、医薬品、鉄鋼、造船、重要鉱物、航空、エネルギー、自動車、AI/量子等

交渉は難航はしましたが、日米双方にとってメリットのある大規模な投資を中心とした合意が得られ、世界からも驚きの声が上がりました。つまり**関税には関税**で応えてもらうというトランプ大統領流のディールに対して、まったく別次元で**関税に投資で応える**というディールで成功したからです。今後は、合意内容の履行の進捗を管理しつつ、案件ごとに各省庁で対応することになります。

レアアースについて

今回の関税交渉では大きく2つの課題が見えてきました。ひとつはWTOなどの国際的な**自由貿易ルール**が新しい局面を迎えたことです。マルチ（多国間）の連携だけでなくバイ（二国間）協定を重層的に活用しながら、**価値を共有する同志国**（←ここが重要）による自由貿易の枠組みを深化させる必要があります。

もうひとつはレアアース（希少な希土類と呼ばれる金属）の確保です。関税交渉の中で中国が重要物資の輸出管理を強化して、交渉のカードとして揺さぶりを掛けてきました。近年の工業製品のすべてといっても過言ではないほどレアアースが活用されています。特に**重希土類**と呼ばれる鉱物資源の安定的な確保が急務ですが、その多くが中国に依存しています。したがって今後は**レアアースの中国依存からの脱却**が急務となります。

既に有望な鉱山開発を進めていますが、この分野は私の政策課題としても取り組んで参ります。



資源国であるブラジル連邦共和国ゴイアス州カイアド知事との会談

経済産業副大臣としての活動

国会は閉会しましたが、経済産業副大臣としての公務は続いています。

7月には**日本水大賞**の表彰式に出席しました。これは、水に関する優れた活動を



日本水大賞の表彰式に出席

表彰するもので、経済産業大臣賞にはヤマハ発動機株式会社が手がける水アクセスの改善が必要な地域に安心な水を届けるヤマハクリーンウォーターシステムが選定されました。このように優れた取組を後押しすることも重要な仕事です。

海外から来日される要人、特に経済産業大臣のカウンターパートにあたる大臣などへの対応や交渉も重要な仕事です。**インドネシアのロサン投資大臣**が来訪された際には、日本からの投資・事業環境の改善について要請をおこなったり、エネルギー・資源分野や次世代自動車分野について、両国の経済関係の強化に向けた意見交換をしました。



インドネシアのロサン投資大臣との会談

編集後記

地元ではお会いする方の多くが「国会も大変やな」と、ご心配を頂いています。今の政治が上手く回っていないこともあり、先が読めないことが多いです。党改革の議論でも、トップを変えれば良いという安易な意見も多いので

福島の復興も重要な任務です。8月には廃炉に関する国際フォーラムが葛尾村で開催されました。

一般の皆さんも参加されていた会議ですが、かなり専門的で難解な知見であっても、しっかりと地元の皆さんと共有することが、安心や信頼をつくる上でも大切だと考えています。

また、福島への企業立地補助金などを活用して、田村市に生産拠点を立ち上げた（姫路市に本社がある）**ヒメジ理化学株式会社**を視察しま

した。半導体の製造に必要な石英ガラス製品を製造されていて今後の成長が期待されます。グリーン水素の製造にも積極的で、福島の産業振興に大きな貢献をしてくれています。

これからも日本の強い経済をつくるために、副大臣として国内外で精力的に活動して参ります。



福島第一廃炉国際フォーラムに参加



ヒメジ理化学株式会社の視察

すが、私は、組織の在り方や意思決定の仕組みそのものを、民間企業並みに洗練したものにしなければ変わらないと考えています。ここが正念場です。個々には優秀な議員も多いので、彼らが最大のパフォーマンスを発揮できるよう改革を進めます。